

# 会議等状況報告書

会議等の名称	小川にかかる橋梁意見交換会	
日時	令和4年3月19日（土）午後2時00分～午後4時00分	
場所	岩崎台・香久山福祉会館 1階多目的ホール	
出席者	香久山地区住民	41名
	玉野総合 コンサルタント(株)	澤田部長、田中部長、阪上技師
	日進市 都市整備部区画整理課	近藤市長、水野副市長 伊東部長、上川原課長、石原課長補佐、榊原主事

## 会議状況要旨

市

- （司会挨拶）
- （市長挨拶）
- （出席者紹介）
- （本日の説明会の流れについての説明）
- （これまでの経緯と道路交通調査の結果に基づく対策案についての説明）

### 【意見交換】

住民

新たにできる12m道路を通り抜け道路として利用する人が想定される。

市

通り抜け道路としての利用は見込んでいない。

住民

日生梅森園からの流入交通量も計上されていない。

市

総量としては含まれているが、日生梅森園との接続箇所からの流出入は、今回の道路交通調査では明らかにはならない。

住民

市は渋滞対策を橋のメリットとして挙げていたが、既に混雑している香久山南交差点の交通量がさらに増える。渋滞対策との根拠はないと思う。

市

香久山南交差点から南に行けないため、名古屋市側へ右折する車で混雑している。このため、令和4年度から都市計画道路野方三ツ池公園線の整備に力を入れて進めていく。また、国道153号に接続する道路が渋滞の原因となっているため、国・県・市・警察の4者で渋滞対策の検討を行っている。

住民

香久山西部土地区画整理事業地内の12m道路において、安全対策を講じる必要があるのではないか。

市

通過する時間がかかるなら交通量が減るのではないかと考えている。株山環状線との接続部分に歩車分離式の信号交差点を設置することにより、安全対策と考えている。

住民

以前の計画では12m道路がカーブでなく、角を切って道路をつけていた。株山環状線との接続箇所に向けて下り坂となるため、スピードが出るのではないかと心配している。

市

事業計画を立てる際、公安協議の中で決定したものであるため、ご理解いただきたい。

住民

信号をつけると渋滞が起こるのではないかと心配している。

市

安全を最優先に進めたいと考えているが、皆様のご意見を伺いながら進めたい。

住民

都市計画道路の整備を進めるとのことだが、長期的な計画よりも短期的なソフト施策の方を優先すべきではないかと心配している。

市

来年度から、野方三ツ池公園線の整備を、職員も予算も増やして対応する。

住民

香久山3丁目において、現在も住宅が建設中であり、人口が増える見込みである。株山環状線から北上して通り抜ける車に危険を感じているため、北から南の一方通行規制をかけてほしい。

市

香久山3丁目における通行止めの問題も含め、来年度以降に区長と相談の上、地

域の皆様と考えていきたい。

住民

ゾーン30にもかかわらず、スピードを出す車が多い。

市

この件についても、来年度以降に区長と相談の上、地域の皆様と考えていきたい。

【意見】

住民

株山環状線の計画交通量を補助幹線道路の概念ではなく、住区準幹線道路の概念として計画を進めてほしい。

道路交通調査の結果をもとに橋梁の建設を進めようとしているが、数値的に何を示されようと反対だ。香久山西部土地区画整理事業は小川の向こうで完結すればよい。

橋梁の建設には賛成である。学区変更もあり、開発される地区との交流は必要である。

副市長

この回を終了させてもらうが、次回は4月30日を予定している。大人数だと議論が深まりにくいいため、それまでに少人数での意見交換を行いたい。

市長

皆様の思いが伝わってきた。新しい地区が香久山の皆様に迎え入れてくれると嬉しいと思っているが、同時に通過車両への不安も理解した。我々のまちづくりが皆様の理解を得られるように努力する。意見交換をこれで打ち切って、すぐに予算執行することはしない。

以上

## 会議等状況報告書

会議等の名称	小川にかかる橋梁意見交換会	
日 時	令和4年3月19日（土）午後5時00分～午後7時10分	
場 所	岩崎台・香久山福祉会館 1階多目的ホール	
出席者	香久山地区住民	17名
	玉野総合 コンサルタント(株)	澤田部長、阪上技師
	日進市 都市整備部区画整理課	近藤市長、水野副市長 伊東部長、上川原課長、石原課長補佐、榊原主事

### 会議状況要旨

市

- （司会挨拶）
- （市長挨拶）
- （出席者紹介）
- （本日の説明会の流れについての説明）
- （これまでの経緯と道路交通調査の結果に基づく対策案についての説明）

#### 【意見交換】

住民

香久山西部土地区画整理事業地内に新たにできる12m道路（以下、12m道路）と白山黒石線が接続すること、橋梁によって株山環状線と接続することは将来交通量の推計結果に反映されているか。

玉野総合コンサルタント（株）

反映されている。

住民

日生梅森園から流入する交通量は今回の調査では分からないか。

玉野総合コンサルタント（株）

推計結果の総量に含まれてはいるが、総量のうち何台が日生梅森園から流入する交通量なのかは今回の調査では分からない。

住民

計画交通量は何をもとに出しているのか。

玉野総合コンサルタント（株）

道路構造令に記されている。簡潔に言うと、道路の幅員等を設計する基として定める計画上の交通量である。

住民

株山環状線の計画交通量はなにか。

市

株山環状線は4種3級の500～4000（台/日）未満であり、住区の生活道路と結ばれ通過交通と住区内交通が交差する道路と公団が定めている。

住民

将来交通量の推計はどのように行っているのか。

玉野総合コンサルタント（株）

香久山西部地区の住宅及び商業施設が全て完成し、かつ交通規制はない前提で推計している。国土交通省のマニュアルに基づき推計しているが、商業施設の詳細な規模等によって実際の交通量は変わってくることはご了承ください。

住民

香久山南交差点の混雑を避けるため、12m道路と橋梁で接続された株山環状線を通り抜け道路として利用する車の台数は推計に含まれているか。

玉野総合コンサルタント（株）

通り抜け道路として位置づけられていないため、含まれていない。

住民

推計を項目別に出してほしい。

玉野総合コンサルタント（株）

可能な範囲内で整理する。

住民

住民は通り抜け交通への懸念が強い。

市

項目別に整理した結果に基づいて、何かしらの形でお示しさせていただきたい。

住民

将来交通量のうち、株山中央通線や株山環状線を通り抜け道路として使う交通量は分からないか。

市

今回の調査では分からない。

住民

外から通過する車がどうなるのかが一番心配である。市は通過交通を入れないようにどうするのか。

市

信号や交通規制等の対策を皆様と一緒に考えていきたい。また、野方三ツ池公園線の早期整備のため令和4年度から職員と予算を増やして対応していく。

住民

以前の説明会では、株山環状線と12m道路の接続箇所にポストコーンを設置し、西から東へ直進できないようにすると聞いていたが、そうではないのか。

市

1番最初の説明会で案の1つとして提示させていただいたが、今回の交通量調査において、対策を施していない状態として推計を行っている。接続箇所をどのようにするかも皆さんと一緒に考えていきたい。

住民

小川の遊歩道を橋梁で分断するのではなく、橋梁の下を通れるようにできないか。

市

皆様のご意見を頂きながら、どのような形で接続するかを、橋梁の設計の中で検討したい。

住民

推計で示されている数字が実際にはどれくらいになるか、過去の事例から分からないか。

市

白山黒石線の計画交通量は10,000(台/日)未満だが、実際には倍近い台数が通っている。このように、実際は計画交通量以上の台数が通っている道路はところどころある。

住民

現状の交通量は1日24時間計測した結果か。

玉野総合コンサルタント(株)

朝7時00分から夜7時00分まで計測した結果に、県の調査に基づく係数である昼夜率を乗じて1日に換算した結果である。

【意見】

住民

香久山の自宅から、香久山西部地区にできる公園や商業施設に車で行きたいが、香久山南交差点から回って行くのは不便である。

香久山西部地区や日生梅森園の子供が香久山小学校に通うことになるが、門木橋を利用する経路は危険であり子供が通るには適さない。香久山南交差点から回って歩かせるのも適さないと思う。

香久山は世代交代していくため、若い人の意見も無視できないと思う。

橋梁を架けるか架けないかではなく、どのような橋梁なのかを議論していけばよいのではないか。

副市長

この回を終了させてもらうが、次回は4月30日（土）を予定している。大人数だと議論が深まりにくいので、それまでに少人数での意見交換を行いたい。

市長

皆様の思いを聞いて進めていきたいため、意見交換をこれで打ち切って、すぐに予算執行することはしない。どのような橋梁が理想かを皆様と一緒に考えていきたい。

以上